



写真 伊藤製糸場操業の図 (四日市市立博物館所蔵)

中部産業遺産研究会 第11回 パネル展と講演会

東海の絹 文化と産業遺産

パネル展

2015年11月17日(火)～11月29日(日)

開館時間：10時～17時 金曜日は20時、火・水・木曜日は18時まで開館

休館日：11月24日(火)

講演会

2015年11月22日(日) 13時～17時

開場：12時30分

会場：名古屋都市センター (金山南ビル内) 11階
金山総合駅南口徒歩1分

観覧・聴講 無料

主催：  中部産業遺産研究会 The Chubu Society For The Industrial Heritage

共催：公益財団法人 名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

後援：名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

■ 会場に関するお問い合わせ先

名古屋市中区金山町1丁目1番1号 金山南ビル内 名古屋都市センター

電話：(052)678-2212 ホームページ：<http://www.nui.or.jp>

中部産業遺産研究会 第11回 パネル展と講演会

日本の世界遺産は現在 19 件登録されています。この中に産業遺産として「石見銀山遺跡とその文化的景観」（2007 年登録）、「富岡製糸場と絹産業遺産群」（2014 年登録）と「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」（2015 年登録）の 3 件あります。

パネル展では、明治、大正から昭和の前期にかけて日本の近代化を支えてきた「絹」産業に焦点を当て、愛知県を中心とした東海地方の絹に関する文化と産業遺産を紹介します。講演会では、東の富岡製糸場に対し、西の伊藤製糸場を創設した五世・伊藤小左衛門の功績を紹介する特別講演会を開催します。引き続き中部産業遺産研究会の定例研究会を公開します。

パネル展 11月17日(火)～11月29日(日) 休館日24日(火)

- 展示内容
- I 日本の近代化に貢献した養蚕・製糸産業の歴史と役割
 - ①日本経済を担った蚕糸業 ②わが国の主要輸出品金額図表 など
 - II カイコからまゆの一生、まゆから生糸を生産する蚕糸業
 - ①カイコの一生 ②西三河の蚕種製造 ③生活環境にやさしい桑園 など
 - III 日常生活に密接した絹文化や蚕糸業に関する実業学校の歴史
 - ①蚕業関係実業学校 ②わが国被服の歴史と絹 ③蚕織こま絵 など
 - IV 失われた養蚕・製糸産業遺産、残された養蚕・製糸産業遺産
 - ①名古屋の蚕糸業 ②岡谷蚕糸博物館 ③四郷郷土資料館（四日市市）など

講演会 11月22日(日) 13:00～17:00 12:30受付開始

第1部 13:00 開会

講演「日本のシルクロードに残る蚕糸産業遺産～富岡製糸場と各地の産業遺産～」

講師 大橋 公雄（会員、事務局長）

特別講演「近代製糸工場の先覚者、五世・伊藤小左衛門」

講師 伊藤 康則（四郷郷土資料保存会副会長）

報告「加茂蚕糸～自動車産業以前の拳母～」

講師 小西 恭子（会員、豊田市近代の産業とくらし発見館学芸員）

報告「浜名湖れんが館（旧宮崎製糸鷺津工場乾繭倉庫）の紹介～静岡県西部の養蚕・製糸の歴史～」

講師 漢人 省三（会員）

第2部 16:00 中部産業遺産研究会 公開定例研究会

閉会

お問い合わせ

- パネル展と講演会実行委員会事務局 寺沢 安正 e-mail terazawa@yk.commufa.jp fax:052-831-8849
- 「パネル展と講演会」WEB サイト <http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn.html>
- 中部産業遺産研究会 WEB サイト <http://csih.sakura.ne.jp/>